

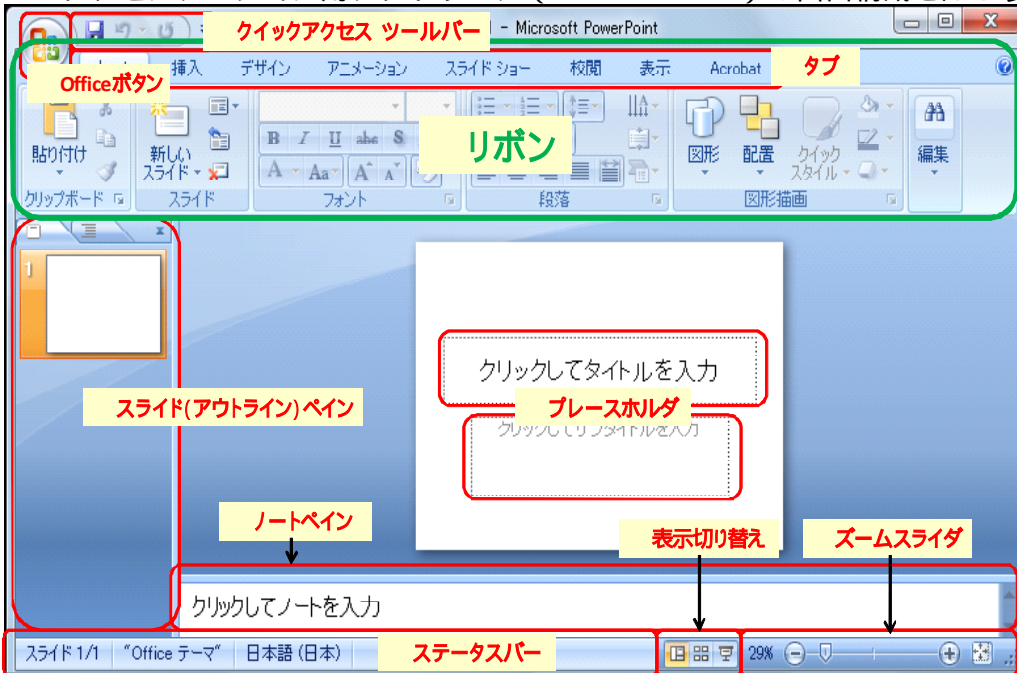
## 組 番 氏 名

### 学習課題

### 1 プレゼンテーションとは

プレゼンテーションとは限られた時間の中で、情報を正確に伝えて、判断や意志決定までしてもらおうコミュニケーションの方法のこと。  
 他民族国家のアメリカでは、自分の考えを相手に伝えるのが難しいため、コミュニケーションの研究がされてきた。日本でも異分野・異業種の人に考えや意見を理解してもらい新しいアイデアを創り出すため、新しいアイデアを提案するために重要視されてきている。  
 人間の脳は、説明を左脳で、図やグラフを右脳で理解するように働いており、コンピュータを用いたプレゼンテーションのように説明と映像イメージを組み合わせた場合、より強く記憶に残ることが分かっている。  
 コンピュータを使わないプレゼンテーションも多数あり、日本の伝統芸能である「ガマの油売り」「バナナの叩き売り」も効果的なプレゼンテーションである。人の足を止める話術、商品の具体的な提示方法、聴き手を引きつける刀や棒などの小道具を使った演出など巧みな技術によって構成されている。【参考文献】実教出版編集部著(2005),『プレゼンテーション+PowerPoint2003』実教出版株式会社

### 2 プレゼンテーション用ソフトウェア(PowerPoint2007)の画面構成を知ろう

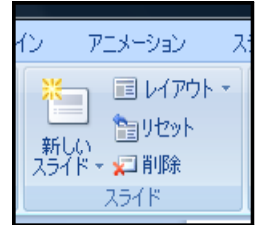


### 画面構成(各部の名称)とそのはたらきを知ろう

- : データに関わること、開く・保存・印刷などがある
- : よく使う操作を登録することができる
- : リボンの表示項目を変えることができる
- : 操作ボタンがグループ分けされて表示されている
- : 縮小スライドやアウトラインを表示、全体を把握できる
- : テキストや図・表・グラフなどを挿入することができる
- : スライドの説明や備考を書くことができる
- : 様々な情報を表示、右クリックで項目を設定できる
- : 表示を切り替える(標準・一覧・スライドショー)
- : マウスで操作して表示倍率を変更する

### 3 スライドの作成

- (1) プレゼンテーション用プランニングシートを見てプレゼンの条件や内容を確認する
- (2) 【Office ボタン】 【新規作成】 ボタンをクリック
- (3) 【ホーム】 タブ 【スライド】 グループ 【新しいスライド】 ボタンをクリックする。  
 【スライド】 グループ 【レイアウト】 で適するものを選択する
- (4) 選択したレイアウトに沿ってテキストや画像・グラフ・表などを設定、保存(フル 1-6-46)する
- (5) 【新しいスライド】 ボタンでスライドを追加、(3)・(4)と同様に設定をする
- (6) 全体を通して見て強調したい部分を明確にし、テキストのフォントの色ポイント・種類を工夫し、【デザイン】 タブで背景等を選択する
- (7) 【スライドショー】 タブ 【スライドショーの開始】 グループから適するボタンを選択・実行、不具合がないか確認をして上書き保存する



### 4 今日の授業を振り返って

どこまで進めたかな スライドの新規作成 テキストの色・ポイント・種類の工夫	スライドの追加 スライドショーの実行
PowerPoint の画面構成の10の名称とその場所がわかりますか	PowerPoint でプレゼンテーション用データの作成ができましたか
<input type="checkbox"/> よくわかる <input type="checkbox"/> まあまあ <input type="checkbox"/> もう少し <input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 十分にできた <input type="checkbox"/> まあまあ <input type="checkbox"/> もう少し <input type="checkbox"/> できなかった
感じたこと 思ったこと	
_____ _____ _____ _____	

組番氏名

学習課題

1 プレゼンテーション資料(以下、プレゼン資料)作成のポイント

プレゼン資料は、読ませるのではなく、見せる「視覚資料」にする

□化  
 キーワードを明確にしておく  
 体言止めの短い表現にして、箇条書きにする  
 見やすいフォント・大きさを工夫する

□化  
 関連・手順・循環を図解(イラスト化)する  
 図・グラフ・表を活用する

□化  
 メッセージを色で印象的にする  
 色で視覚的に強調する  
 (カラフル過ぎると何を強調したいのかわからなくなるので注意)  
 【参考文献】実教出版編集部著(2005),『プレゼンテーション+PowerPoint2003』実教出版株式会社

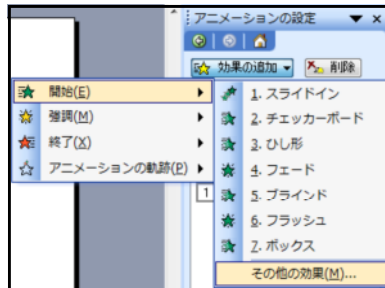
2 アニメーション効果について

特に印象づけたい場合にスライド、テキスト・画像・グラフに動きを設定することができる、これをアニメーション効果という。スライドの表示に動きを設定する【画面切り替え】とテキスト・画像・グラフなどの表示に動きを設定する【アニメーションの設定】の2種類がある。  
 アニメーション効果は聞き手の興味を引くには効果があるが、多用すると、動きにだけ興味が集まり、逆効果になる傾向があるため、どこに、どんな動きを設定するのは十分に検討した方がよい。



(1) 画面切り替え

【アニメーション】タブ 【画面切り替え】グループから適するものを選択する。  
 【プレビュー】ボタンで動きを確認することができる。



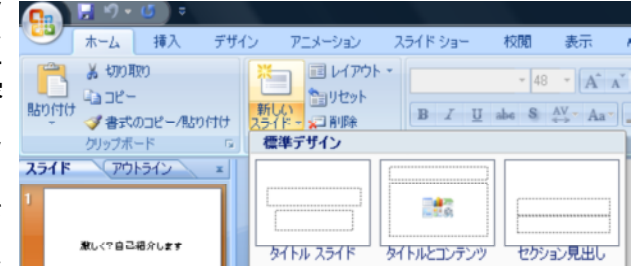
(2) アニメーションの設定

動きを付けたいテキスト・画像・グラフなどを指定する。  
 【効果の追加】から、タイミング動きの種類・早さなどを選択、【再生】又はリボンの【プレビュー】ボタンで動きを確認する。

3 作品を作ろう

スライド3~4枚で自己紹介のプレゼンテーションをしよう。  
 学級で『最近、はまっていること:マイブーム』をテーマに一人3分間の自己紹介プレゼンをする。そのプレゼン資料作成では、以下の4つを行うこと  
 テキストはフォント・ポイント・色などの工夫で大事な部分を強調  
 各スライドのタイトル(見出し)は位置や大きさ・色については統一  
 サンプル画像フォルダにある画像を1つ以上利用すること  
 アニメーション効果を2箇所だけに設定すること

- (1) プレゼンテーション用ブランニングシートを記入し、プレゼンテーションの条件や内容を確認する
- (2) 【□】ボタンをクリックする
- (3) 適するレイアウトを選択する
- (4) 選択したレイアウトに沿ってテキストや画像などを設定し、保存(フル 1-6-46)する
- (5) 【新しいスライド】ボタンでスライドを追加、(3)・(4)と同様に設定する
- (6) スライドペインでスライドのコピー、順序の変更、削除などができる
- (7) 全体を通して見て強調したい部分を明確にし、テキストのフォントの色・ポイント・種類を工夫、【アニメーション】タブから背景等を選択、アニメーション効果の設定をする
- (8) 【スライドショー】タブを選択・実行、不具合がないか確認をして、上書き保存をする



4 プレゼンテーション用ソフトウェア(PowerPoint)の特徴をまとめよう

自分で	板書
-----	----

5 今日の授業を振り返って

どこまで進めたかな テキストの強調 アニメーション効果の設定	画像の利用 スライドショーの実行
PowerPointで自己紹介のプレゼンテーションの作成ができましたか	プレゼンテーション用ソフトウェア(PowerPoint)の特徴を書くことができましたか
<input type="checkbox"/> 十分にできた <input type="checkbox"/> まあまあ <input type="checkbox"/> もう少し <input type="checkbox"/> できなかった	<input type="checkbox"/> 十分にできた <input type="checkbox"/> まあまあ <input type="checkbox"/> もう少し <input type="checkbox"/> できなかった
感じたこと 思ったこと	
----- ----- -----	

パワーポイントの特徴はこれまで紙や図表で行っていたプレゼンテーションをパソコンのデータで行うことができます。パワーポイントを使うことにより、テキスト・表・グラフ・画像・動画等のデータを一括(一元化)して扱うことができます。

